

今年もよろしくお願します。

メロンはこうして栽培されます

ファーム周辺の自然

森里はまだまだ元気ですよ

それなりにギター

この冬は

これは  
3月12日に種蒔きした今年の苗です。

## メロン栽培記録

### 除雪・ビニール掛け



昨年の通信で種蒔きから接ぎ木までをお伝えしました。

そこで今年の通信では昨年のその後のメロンの様子をご紹介します。



1m以上積もったハウス。前年秋にビニールをはがしてパイプだけで冬を越します。とは言うてもこの時期はまだ冬ですが、だいたい2月中旬から作業が

始まります。

写真のように農業トラクターの後ろに投雪作業機をつけ大方雪を飛ばします。



下のハネで雪をかき集め上から雪を飛ばす機械。

なるべくパイプぎりぎりまでこの機械で雪を除きパイプ際はスコップ除雪となるわけですが、これが結構重労働で、冬に鈍った身体をならし運転するみたいな

ものです。



この状態からスコップ戦隊出動・・・といっても隊長と隊員1名ですが。



こんな具合で中の雪が解けて土が乾くの待ちます。

### 肥料・耕運

#### 目次

メロン栽培記録(2)	2
さらば富良野塾	3
青江又八郎	3
さくらんぼ	3
カワガラス	4
Twitter	4



苗の管理をしながら本畑をトラクターで耕運します。

もちろんこの前に肥料をふり、地下50cmほどまで数本の爪で溝を掘り土が堅くなり水はけが悪くなるのを防いでいます。



耕運し整地すると太陽の光

を浴び、水蒸気が出てきます。土を手にし、感想具合を確かめます。

メロンという作物は蔓や葉の元気さ加減(草勢)と実を充実させる加減(果勢)のバランスが大事です。

「キングルビー」という品種は上手に栽培すれば香り、果肉とも数あるメロンの中でもトップクラスだと自負しています。が、栽培ステージにおいてコントロールすることが本当に難しい品種です。

初期の土壌水分が過剰だ

と我々が俗にいう「走る」といって草勢が強すぎ強めの選定(芽かき)をせざるを得ないことになる。

一度正常な生育パターンから外れると本当に苦労するからです。

このへんは言葉で説明できない葉の色を見たり、蔓の元気具合など感覚で判断します。

## 内張り被服・定植



アカゲラ

英名 Great Spotted Woodpecker

(赤啄木鳥、Dendrocopos major)は、キツツキ目キツツキ科アカゲラ属。

北海道で亜種エゾアカゲラ、本州、四国で亜種アカゲラが周年生息する(留鳥)。



写真では解りづらいですが、地面に除草剤を使わずに緑色で遠赤効果のあるセラミックを練りこんであるポリを敷き、その上に前年上に掛けてあったビニールを敷いてマルチします。

一株づつ丁寧に植えてい

きます。



早い時期のメロンはこの株もとにポリエチレンホースを埋め込んであって温水を流し保温に努めます。

朝方の最低地温が18℃以上になるよう管理するのですが、寒い日が続くと温

水ボイラーは燃焼しっぱなしみたいなもので、数日で500リッター入りの灯油タンクに給油するようです。



内張りカーテンにトンネル、場合によってはトンネルの上に保温シートを掛けるときもあります。

## つるが伸び始めます



定植後1週間ほどすると根が土をとらえ出し、成長が始まります。



玉を付けさせる孫つるまで余分な芽を摘んでいく作業。



メロンの花が咲く1週間前にはミツバチをハウス内に入れ

受粉の準備です。



着果したメロンの赤ちゃんです。一株に最終的に4玉付けますが、候補として8玉分を残しておきます。のち、卵大になったところで余分な玉を落とす、「摘果」という作業に移ります。

## メロンの収穫



株全体の風景

マットを敷いて



途中ハシヨリしましたが収穫パッケージして出荷となります。





弦をはずし、エボニーのフィンガーボードとブリッジをオレングジョイルで磨く。

今付いているオリジナルはブラのようだから、サドルとナットをTUSQか牛骨に交換しよう。

寸法を測り、これからネットで注文しようと思う。

弦高が3ミリあるので2、3位に下げれば、かなり弾きやすくなるだろう。

そのくらい下げてもこのギターだったら十分に鳴ってくれそう。

……ああ、楽しみだ。

## さらば富良野塾

富良野在住の脚本・演出家、倉本聰さんが富良野市布礼別（ふれべつ）に役者やライター志望の若者を集めて開塾したのが1984年4月。26年間ご苦労様でした。塾生たちは日中農作業、夜には演劇を学びながら2年間共同生活する。今まで巣立った塾生は25期375人に上る。その富良野塾がこの4月に閉塾した。

倉本さん自身の体力の問題。年々若者たちの学ぶ意欲の低下してきたことなどが理由らしい。92年に塾の隣町「麓郷」に来富したのもそもそもは倉本さんの「北の国から」の五郎さんの生活に憧れたからだ。厄介になっていた木工所（中畑木材）に薪をもらいに来ていた塾生をたまに見かけていたが、皆爽やかな

笑顔と明るい挨拶にこちらが元気をもらっていた。普段芝居に縁のない自分も彼らの直向な舞台に感動の涙を落したこともあった。・・・この顔で(笑)。時間が経ったのだなと改めて思われる記事だった。

## 青江又八郎 ～ 藤沢周平 用心棒日月抄シリーズ

またかとお思いか？  
しばし拙者にお付き合い願いたい



この4部作は是非お読み

いただきたい。  
藤沢作品の中でも筆頭格にあげてもよからう、まっこと面白き時代小説にごさる。主人公 青江又八郎 26歳故あって人を斬り脱藩、国許からの刺客に追われながら用心棒稼業で日々の糧を得る。請う仕事はなぜか、浅野家と吉良家の争いの周辺

に・・・



江戸の古地図などで確認しながら読み進めるがよからう。

## さくらんぼ ～ 桜桃

畑の前の持ち主が副収入を期待して植えたさくらんぼの木



引き継いだ時点では125本ありました。

品種は佐藤錦をはじめナボレオン、南陽、不明なものまで。去年は大豊作でした。ただ手入れをしていないので売り物にはならない粒ばかりでした。7月上旬に実をつけるのでメロンと作業が重なり、今のところ野放し状態です。一昨年は遅霜にあたり見事に不作でしたし、営農の対象にはなっていません。



それでもけなげに蕾を付けています。

ふらのハーモニーファーム  
若林 一仁・エミコ

〒079-1571  
富良野市山部西 18 線 18

電話  
(0167)42-2187

FAX  
(0167)42-2187

電子メール  
farn@furano-harmony.com

## 厳冬の溪流にカワガラス ~2010年1月14日のブログより

朝方の最低気温が氷点下15℃を下回っている。本流を囲うように護岸から凍りつく 勇振川(ユウフレ)流れの中心に動くものがある。



カワガラス

コンパクトデジカメではこれが限界。いつもはツガイで近くにいるのが、今朝は見当たらない。手を入れると忽ちちぎれるような冷たさの中、彼らは捕食に余念がない。川の中を歩くという。川底の石を器用にめくり水生昆虫を捕る。日本中で繁殖しているようだが、

いやはや北国で生きるのは辛いだろうに。

がんばれ!がんばれ!

そんな清流をだが、すでに護岸工事された不自然な川。今度は魚道を作るそう。詳しくはわからないが、重機が入りしばらく川を濁すのだろう。どうか彼らが無事でいてほしい。

## Twitter ツイッターから

海彦・山彦の分け方を  
するならば、自分は  
きっと山彦だろう。潮  
騒やせせらぎがどうに  
も落ち着かない。旅な  
ら新鮮だが...

の成本に見合う営農  
ができるかどうか。そ  
れが出来ない農家は資  
本主義からは外される  
のか?という問題。



人にはそれぞれ「心の  
ふるさと」があるとい  
う。今此処に居るが帰  
郷しているのだろうか。  
いずれ導かれるよう  
に他所に赴くのだろ  
うか。

まず各農家の各作物の  
生産ロットで全てが決  
まるように思う。だが  
現実は相場があってそ

農業始めて16年にな  
ります。はじめの頃は  
結構エキサイトして作  
業や営業、技術収集し  
まくりました。とても  
大切なことです。ただ  
永く維持していかね  
ば。人それぞれの原寸  
大・等身大で。100  
人100通りの営農が  
あるので一般論が通用  
しない点も気に入って  
いる。

Web サイトにてお待ちしております。

Web サイト アドレス:  
[www.furano-harmony.com](http://www.furano-harmony.com)